.WE LEAGUE

PROFILE BOOK

公益社団法人日本女子プロサッカーリーグ
Japan Women's Empowerment
Professional Football League
©WE LEAGUE
2026年10月発行

WOMEN EMPOWERMENT LEAGUE

理念

女子サッカー・スポーツを通じて、
夢や生き方の多様性にあふれ、
一人ひとりが輝く社会の実現・発展に貢献する。

VISION 1
世界一の女子サッカーを。
（サッカー事業）

①世界トップ水準の競技力、選手・スタッフの輩出
②日本全国で女子サッカーの競技力のボトムアップの実現
③日本各地に女子がサッカーを楽しめる場を広げる

VISION 2
世界一アクティブな女性コミュニティへ。
（社会事業）

①女性が起点となり、社会全体に前向きな変化を生み出す原動力になる
②スポーツの枠を超えて、個人、団体、企業が集まるプラットフォームとなる

VISION 3
世界一のリーグ価値を。
（事業基盤）

①社会面、競技面の発展を支えるリーグ基盤（財政・組織）を確固たるものとする
②リーグの本質的価値を事業成果としてあらわす
③多種多様な働き方を内包した、社会のロールモデルとなる組織を実現する

■理念とビジョン

ＷＥリーグは、「女子サッカー・スポーツを通じて、夢や生き方の多様性にあふれ、一人ひとりが輝く社会の実現・発展に貢献する」ことを理念に掲げています。この理念は、３つのビジョンによって支えられています。サッカー事業は「世界一の女子サッカー」を、社会事業は「世界一の女性コミュニティ」を目指し、その両輪を支える事業基盤を整え「世界一のリーグ価値」を生み出していくという構図です。

サッカー事業では、リーグ戦の開催を通して、日本女子サッカー界の環境整備や選手の育成・強化などに取り組み、サッカーを男女ともに楽しめる競技スポーツへと発展させていきます。
また、社会事業では、スポーツの枠を超えた様々なステークホルダーとともにコミュニティを形成し、社会課題の解決に向けてアクションを起こしています。
それぞれのクラブや選手たちも理念の推進に向けた意思表明を行っており、リーグ一体となって活動していきます。

●設立の意義

1 日本の女性活躍社会を牽引する。
2 日本に「女性プロスポーツ」を根付かせる。
3 日本の女子サッカーの発展に貢献する。
4 なでしこジャパンを再び世界一にする。

●名称とロゴ

ＷＥリーグはWomenEmpowermentLeagueの略称です。この名称には日本に“女子プロサッカー選手”という職業が確立され、リーグを核に関わるわたしたちみんな（ＷＥ）が主人公として活躍する社会を目指す、という思いが込められています。

.WE LEAGUE

ブランドモチーフの「●」（ドット）は、「サッカーの躍動感」「新たなつながり」「これからの日本」を表しています。

About WE LEAGUE

■理事・監事・特任理事　一覧



後列（左から）
森本 譲二 理事／岩清水 梓 特任理事／福田 あずさ 監事／大塚 則子 監事／三倉 茜 理事／定本 晴路 理事／窪田 慎二 理事
前列（左から）
海堀 あゆみ 理事／宮本 恒靖 副理事長／野々村 芳和 チェア／安達 健 専務理事／大滝 麻未 理事

■法人概要

●法人名称（英語表記）　公益社団法人日本女子プロサッカーリーグ
Japan Women's Empowerment Professional Football League
●略　　称　ＷＥリーグ （英語表記）WE LEAGUE
●設 立 日　2020年7月1日
●事業年度　7月1日～6月30日
●所 在 地　東京都文京区後楽1丁目4-18
●理 事 長　野々村 芳和
●社員総会

【ＷＥリーグ会員】
株式会社マイナビフットボールクラブ
浦和レッドダイヤモンズ株式会社
ＲＢ大宮株式会社
株式会社エルフェンスポーツクラブ
ジェフユナイテッド株式会社
東京ヴェルディ株式会社
株式会社ノジマステラスポーツクラブ
株式会社長野パルセイロ・アスレチッククラブ
株式会社新潟レディースフットボールクラブ
株式会社セレッソ大阪
アイナックフットボールクラブ株式会社
株式会社サンフレッチェ広島
【特別会員】
公益社団法人日本女子プロサッカーリーグ
チェア　野々村 芳和

●理事会 ※2026年10月現在
【理 事 長】野々村 芳和
【副理事長】宮本 恒靖
【専務理事】安達 健
【理　　事】大滝 麻未、海堀 あゆみ、窪田 慎二
定本 晴路、三倉 茜、森本 譲二
【監　　事】大塚 則子、福田 あずさ
【特任理事】岩清水 梓、近賀 ゆかり

■主な活動

① 女子プロサッカーの試合の主催
② 公式記録の作成、管理及び運用
公式試合、公式行事の記録や映像・静止画像の作成・収録、保管、管理及び販売ならびに選手肖像権等の管理
③ 女子プロサッカーに関する諸規約の制定
④ 女子プロサッカーの選手、監督及び審判等の養成、資格認定及び登録
⑤ 放送等を通じた女子プロサッカーの試合の広報普及
⑥ サッカー及びサッカー技術に関する調査、研究及び指導
⑦ サッカーに関する国際的な交流及び事業の実施
⑧ サッカーをはじめとするスポーツの振興及び援助
⑨ 機関紙の発行等を通じた女子サッカーに関する広報普及
⑩ 女性活躍推進をはじめとする社会課題に関するイベントや研修の実施
⑪ その他目的を達成するために必要な事業
女子プロサッカーに関するパートナー、及びサプライヤーとのリレーション構築等

沿革

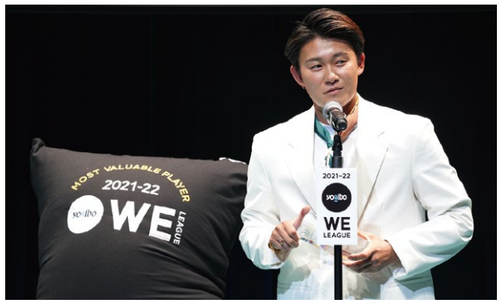
2019年	7月 11日	JFA理事会が、「女子サッカープロリーグ設立構想」「女子新リーグ設立準備室の設置」を承認
	9月 12日	女子新リーグ設立準備室および アドバイザリーコミッティのメンバーが決定 室長に、佐々木則夫氏（JFA理事、元日本女子代表監督）が就任
2020年	6月 3日	日本サッカー協会（JFA）が日本初の女子プロサッカーリーグ創設を発表 名称は「WEリーグ（Women Empowerment League）」
	7月 1日	一般社団法人日本女子プロサッカーリーグ　設立
	9日	岡島喜久子氏の代表理事就任を決議、初代チェアに就任
	31日	2021年秋の開幕に向けたWEリーグの入会申請を締め切り、 17団体の入会申請を受理
	10月 15日	WEリーグ理事会にて、下記11クラブの入会申請を承認し、 オンラインでWEリーグ参入クラブ発表記者会見を開催 ● マイナビ仙台レディース ● 浦和レッドダイヤモンズレディース ● 大宮アルディージャ ● ちふれASエルフェン埼玉 ● ジェフユナイテッド市原・千葉レディース ● 日テレ・東京ヴェルディベレーザ ● ノジマステラ神奈川相模原 ● AC長野パルセイロ・レディース ● アルビレックス新潟レディース ● INAC神戸レオネッサ ● サンフレッチェ広島F.C
2021年	3月 8日	国際女性デーに合わせて、11クラブの選手代表者が集まりクレド（行動規範）開発をスタート
	4月 24日	2021 WEリーグ プレシーズンマッチ　開幕 90分間（前後半各45分）の試合を行い、勝敗が決しない場合は引き分けとし、最終順位を決定しない全6節、22試合を開催
	6月 9日	国際協力機構（JICA）、JFA、Jリーグ、WEリーグが、サッカーを通じた開発途上地域の発展に向けて連携協定を締結
	19日	2021 WEリーグ プレシーズンマッチ全日程が終了
	7月	法人格を一般社団法人から、公益社団法人に移行
	5日	WEリーグタイトルパートナー、プロードキャスティングパートナー発表記者会見開催 株式会社ウェブシャーク（現: 株式会社Yogibo）とタイトルパートナー契約を締結 大会名称が「Yogibo WEリーグ」に決定 DAZN での「Yogibo WEリーグ」全試合配信を発表
	8月 25日	WEリーガークレド（行動規範）を制定
	30日	WEリーグアンセム『WE PROMISE』を発表 作曲はTUBEのギタリストとして活躍、数々のヒット曲を手がけてきた春畑道哉氏
	9月 6日	Yogibo WEリーグ開幕プレスカンファレンスをオンラインで開催
		社会事業「WE ACTION」を発表 キックオフミーティングをオンラインで開催
	12日	2021-22 Yogibo WEリーグ　開幕
2022年	2月 26日	WEリーグ優勝トロフィー 「Women Empowerment Trophy」が完成 制作は菅原工芸硝子
	27日	皇后杯 JFA 第43回全日本女子サッカー選手権大会は決勝でジェフユナイテッド市原・千葉レディースに勝利した三菱重工浦和レッズレディースが優勝
	4月 20日	ラ・リーガ（スペインのプロフェッショナルサッカーリーグ）、なでしこリーグと3者間でパートナーシップ協定を締結
	5月 8日	INAC神戸レオネッサが2021-22 Yogibo WEリーグ優勝
	22日	2021-22 Yogibo WEリーグ　終了
	6月 7日	2021-22 Yogibo WEリーグアウォーズを開催 最優秀選手賞は山下杏也加選手（INAC神戸レオネッサ）
	16日	「令和3年度JOCスポーツ賞女性スポーツ賞」を受賞
	8月 20日	2022-23 WEリーグカップ　開幕
	9月 14日	2023-24シーズンよりセレッソ大阪堺レディースのWEリーグ参入が決定
	29日	第二代 WEリーグチェア（理事長）に高田春奈氏が就任
	10月 1日	2022-23WEリーグカップ決勝～EMPOWERMENT MATCH～ （浦和 3（4 PK 2）3 東京NB@味フィ西／入場者数3,546人） 三菱重工浦和レッズレディースが優勝
	11月 28日	日本サッカー協会とともにイングランドサッカー協会とパートナーシップ協定を締結



［2020年7月9日］初代チェアに岡島喜久子氏が就任



［2021年9月12日］2021-22 Yogibo WEリーグが開幕



［2022年6月7日］初代MVPは山下杏也加選手に


［2022年9月29日］
第二代チェアに高田春奈氏が就任


［2022年9月14日］
2023/24シーズンよりセレッソ大阪堺レディースのWEリーグ参入が決定

2023年	1月 28日	皇后杯 JFA 第44回全日本女子サッカー選手権大会は決勝でINAC神戸レオネッサに勝利した日テレ・東京ヴェルディベレーザが優勝
	2月 24日	セレッソ大阪堺レディースが4月1日より 「セレッソ大阪ヤンマーレディース」として活動することが決定
	6月 3日	2022-23 Yogibo WEリーグ 三菱重工浦和レッズレディースが優勝
	10日	2022-23 Yogibo WEリーグ　終了
	12日	2022-23 Yogibo WEリーグアウォーズを開催 最優秀選手賞は安藤梢選手（三菱重工浦和レッズレディース）
	26日	渋谷区連携協定に調印
	8月 26日	2023-24 WEリーグカップ　開幕
	9月 12日	WEリーグ公式マスコット「ウィーナ」　誕生
	10月 14日	2023-24 WEリーグカップ決勝 （広島 0（4 PK 2）0 新潟L@等々力／入場者数6,261人） サンフレッチェ広島レジーナが優勝
	28日	情報発信拠点「Home of .WE」を渋谷にオープン
	11月 6日	AFC Women's Club Championship 2023 - InvitationalTournament　開幕
		2023-24 WEリーグキックオフカンファレンス　開催
	11日	2023-24 WEリーグ　開幕
	27日	第1回「WE DIALOG」　開催
2024年	1月 27日	皇后杯 JFA 第45回全日本女子サッカー選手権大会は、 決勝で三菱重工浦和レッズレディースに勝利した INAC神戸レオネッサが優勝
	2月 10日	「ALL WE ACTION DAY」を初開催 ソーシャルインパクトパートナーであるKPMGコンサルティング株式会社と協働で策定した「価値創造ストーリー」を発表
	5月 10日	AFC Women's Club Championship 2023 - InvitationalTournamentで三菱重工浦和レッズレディースが優勝
	12日	2023-24 WEリーグ、三菱重工浦和レッズレディースが優勝
	25日	2023-24 WEリーグ　終了
	6月 7日	2023-24 WEリーグアウォーズ　開催 最優秀選手賞は清家貴子選手（三菱重工浦和レッズレディース）
	7月 11日	SOMPOホールディングスとタイトルパートナー契約の締結を発表 大会名称が「SOMPO WE リーグ」に決定
	18日	クラシエ株式会社と2024-25 WEリーグカップタイトルパートナー契約の締結を発表 大会名称が「2024-25 WEリーグ クラシエカップ」に決定
	8月 25日	AFC女子チャンピオンズリーグ2024/25グループステージ　開幕 三菱重工浦和レッズレディースが出場
	26日	2024-25 WEリーグキックオフカンファレンス　開催
	31日	2024-25 WEリーグ クラシエカップ　開幕
	9月 14日	2024-25 SOMPO WEリーグ　開幕
	26日	第三代WEリーグチェア（理事長）にJリーグチェアマンも務める 野々村芳和氏が就任 副理事長には日本サッカー協会の宮本恒靖氏が就任
	12月 29日	2024-25 WEリーグ クラシエカップ決勝 （広島 1−0 I神戸@国立／入場者数21,524人） サンフレッチェ広島レジーナが優勝、2連覇を達成 WEリーグ公式戦での最多入場者数記録を21,524人に更新
2025年	1月 25日	皇后杯 JFA 第46回全日本女子サッカー選手権大会は、 決勝でアルビレックス新潟レディースに勝利した 三菱重工浦和レッズレディースが優勝
	2月 1日	2024-25 ALL WE ACTION DAY　開催
	13日	スペインプロリーグ「ラ・リーガ」とのパートナーシップ協定を更新
	3月 8日	2024-25 SOMPO WEリーグ第13節サンフレッチェ広島レジーナが「自由すぎる女王の大祭典」と題しイベントを開催 WEリーグクラブとしては最高の入場者数20,156人を達成
	30日	情報発信拠点「Home of .WE」を閉店



［2023年6月12日］2022-23 Yogibo WEリーグアウォーズを開催
最優秀選手賞は安藤梢選手（三菱重工浦和レッズレディース）



［2024年5月10日］AFC Women's Club Championship
2023 InvitationalTournamentで三菱重工浦和レッズレディースが優勝


［2024年6月7日］2023-24 WEリーグアウォーズ　開催
最優秀選手賞は清家貴子選手（三菱重工浦和レッズレディース）


［2024年9月26日］第三代チェアに野々村芳和氏が就任



［2025年3月8日］2024-25 SOMPO WEリーグ第13節サンフレッチェ広島レジーナが「自由すぎる女王の大祭典」と題しイベントを開催
WEリーグクラブとしては最高の入場者数20,156人を達成

2025年	5月 6日	2024-25 SOMPO WEリーグ第20節 ジェフ千葉レディースvs. 大宮アルディージャVENTUS （12時キックオフ/国立競技場）の試合において、WEリーグ公式戦（リーグ戦・カップ戦含む）における最多入場者数26,605人を達成
	17日	2024-25 SOMPO WEリーグ　終了 日テレ・東京ヴェルディベレーザが優勝
	19日	2024-25 WEリーグアウォーズを開催 最優秀選手賞は山本柚月選手（日テレ・東京ヴェルディベレーザ）
	8月 4日	2025/26 WEリーグ キックオフカンファレンスを開催
	9日	2025/26 SOMPO WEリーグ　開幕
	17日	2025/26 SOMPO WEリーグの開幕節（第1節：8月9日、8月10日、第2節：8月16日、8月17日）において、34,044人と最多入場者数を更新
	9月 4日	World Football Summitにて 「Female Leader Award for Leading Women in Sport」を受賞
	10月 25日	2025/26 WEリーグ クラシエカップ　開幕
	11月 9日	AFC女子チャンピオンズリーグ 2025/26グループステージ　開幕 日テレ・東京ヴェルディベレーザが出場
2026年	1月 1日	元日に国立競技場で開催された皇后杯 JFA 第47回全日本女子サッカー選手権大会決勝で INAC神戸レオネッサに勝利したサンフレッチェ広島レジーナが皇后杯初優勝を飾った
	3月 31日	2026 Generation adidas Cup にWEリーグU−16選抜が出場
	4月 29日	2025/26 WEリーグ クラシエカップ 決勝 （大宮 2(1PK3)2 東京NB@U等々力/入場者数 12,006人） 日テレ・東京ヴェルディベレーザが初優勝
	5月 3日	2025/26 SOMPO WEリーグ、INAC神戸レオネッサが優勝 4年ぶり2回目の優勝
	16日	2025/26 SOMPO WEリーグ 終了 2025/26 WEリーグ公式戦 年間総入場者数が過去最多となる 380,179人を記録
	23日	AFC女子チャンピオンズリーグ 2025/26 決勝 日テレ・東京ヴェルディベレーザはネゴヒャン女子蹴球団（朝鮮民主主義人民共和国）に0-1で敗れ準優勝
	26日	2025/26 WEリーグアウォーズを開催 最優秀選手賞は成宮唯選手（INAC神戸レオネッサ）が受賞 2025/26 ALL WE ACTION DAYを開催
	7月 1日	WEリーグチケットがリニューアル JリーグIDが利用できる新たなチケットサービスを開始
	8月 7日	株式会社電通とグロース・パートナー契約を締結
	13日	株式会社クレディセゾンとゴールドパートナー契約を締結 株式会社みずほフィナンシャルグループとゴールドパートナー契約を締結
	17日	2026／27WEリーグキックオフカンファレンスを開催
	22日	2026／27WEリーグ　開幕
	9月 12日	2026／27WEリーグクラシエカップ　開幕
	25日	WEリーグチェアに野々村芳和氏が再任





［2025年5月6日］
ジェフ千葉レディースがJリーグとの共催でWEリーグ公式戦最多入場者数を更新

［2025年5月19日］
2024-25 WEリーグアウォーズを開催
最優秀選手賞は山本柚月選手
（日テレ・東京ヴェルディベレーザ）



［2025年9月4日］World Football Summitにて
Female Leader Award for Leading Women in Sportを受賞



［2026年5月26日］
2025/26 WEリーグアウォーズを開催
受賞者の衣装は「ELLEgirl」の特別監修



［2026年5月26日］
2025/26シーズンの最優秀選手賞は
成宮唯選手（INAC神戸レオネッサ）



［2026年8月17日］
2026／27WEリーグキックオフカンファレンスを開催

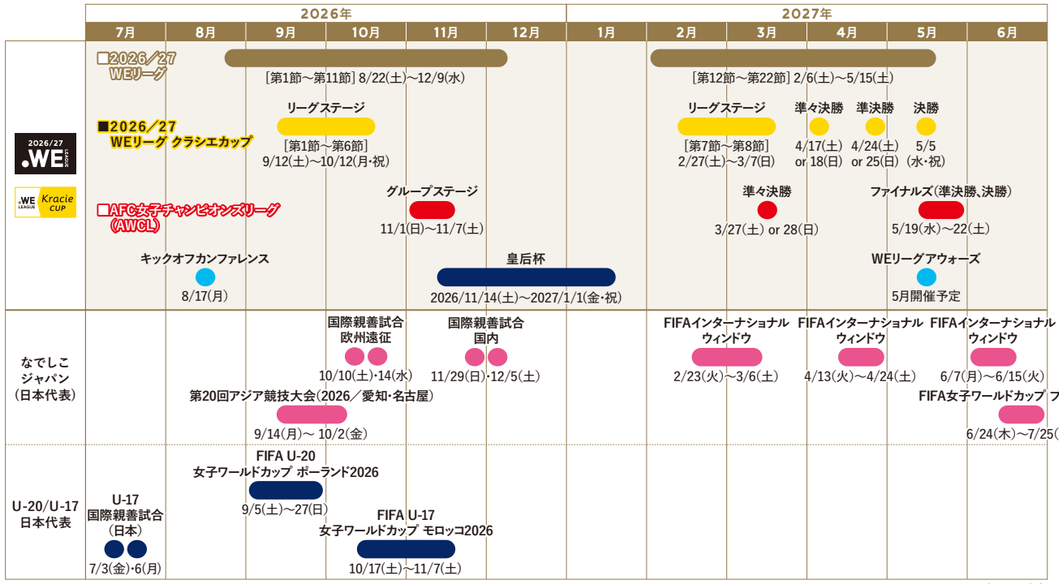


［2026年9月25日］WEリーグチェアに野々村芳和氏が再任

About Football

世界一の女子プロサッカーリーグを目指して

■年間スケジュールについて（概略）



2026年10月時点

■女子プロサッカー選手契約制度について

WEリーグ設立に伴い、JFAは「女子プロサッカー選手の契約、登録及び移籍に関する規則」を新設しました。
また、産前産後休業の取得や期間中の報酬（契約に定められた金額の2/3）の保証、妊娠・出産を理由にした契約解除は認められないことなどが明記されている他、2025年には月経に関連する健康状態を理由としてトレーニング又は試合へ参加しない権利も制定されています。

■WE DIALOGについて

JPFA（日本プロサッカー選手会）、JFA、WEリーグの3者が一堂に会して日本女子サッカーの発展及び普及、女性活躍社会の牽引など、WEリーグの設立意義に資することについて議論します。2023年11月から年に2回開催され、これまで試合日程、選手のプレー環境や契約制度、WEリーグの経営方針などが議題に上がりました。

■選手育成について



2026年3月には、次世代を担うトップ選手の育成と選手層の拡大を目指し、全12クラブのアカデミーからWEリーグU−16選抜を組成してアメリカで開催されたMLS Generation Adidas Cupに参加しました。今後も様々な選手育成活動を検討しています。
また、日本女子サッカー全体の成長を目指し、JFAならびに高体連や地域FAなど関連団体と連携して、JFAとWEリーグが共同で主催する「U-18女子サッカープレミアリーグ」が2027年4月よりスタートします。

■AFC女子チャンピオンズリーグ（AWCL）について



アジア各国リーグの優勝クラブがアジアチャンピオンを目指して戦い、優勝チームにはFIFAが主催する世界大会への出場権が与えられます。
なお、WEリーグはAWCLに出場するクラブに対して、JFAと共同で人的サポート、日程サポート、財政サポートなど、日本勢としての初優勝を目的とした総合的な支援を実施しています。

■皇后杯について

WEリーグのほか、なでしこリーグ、地域代表など全48チームが出場し、女子サッカーの日本一を決める皇后杯JFA全日本女子サッカー選手権大会。
前年度大会に続き、決勝は2027年1月1日（金・祝）に東京・MUFGスタジアム（国立競技場）にて開催され、15年ぶりに天皇杯決勝との同日開催となります。

■審判員について

WEリーグでは1級審判員資格を持つ女性審判員を中心に試合を運営しています。JFAは2008年より審判員やインストラクターの国際経験を積むため、海外のサッカー協会や連盟と審判交流プログラムを提携し、国際交流や国際経験の機会創出に注力しています。WEリーグでも審判交流プログラムを実施しています。

■WEリーグ戦について

●大会名称	2026／27 WEリーグ ［英語表記:WE LEAGUE］
●主催	公益財団法人日本サッカー協会 公益社団法人日本女子プロサッカーリーグ
●試合会場	原則ホームチームのスタジアム
●参加チーム数	12チーム
●大会方式	ホーム＆アウェイ方式による ２回戦総当たりリーグ戦
●試合数	132試合（全22節）
●開催概要	
・試合方式および勝敗の決定	90分間（前後半各45分）の試合を行い、勝敗が決しない場合は引き分けとする。
・勝点	勝利：３点、引き分け：１点、敗戦：０点
・年間順位の決定	リーグ戦が終了した時点で、勝点合計の多いチームを上位とし、順位を決定する。 ただし、勝点が同じ場合は、以下の順によって順位を決定する。 1. 得失点差 2. 総得点数 3. 当該チーム間の対戦成績 （イ：勝点、ロ：得失点差、ハ：総得点数） 4. 反則ポイント 5. 抽選 ※抽選は、理事会が必要と判断した場合のみ実施される
●表彰	優勝：賞金2,000万円 Women Empowerment Trophy ２位：賞金1,000万円 ３位：賞金　500万円

■WEリーグ 優勝トロフィー「Women Empowerment Trophy」

リーグ戦の王者に贈られる優勝トロフィーは、女性の障壁として例えられる「ガラスの天井」から着想を得て、私たち自身が壊したガラスからつくられています。制作は、初代岡島チェアと世代の異なるＷＥリーガー３名がそれぞれぶつかってきたガラスの壁をサッカーボールで壊すことから始まりました。壊れたガラスの破片は、菅原工芸硝子株式会社が培ってきた廃棄ガラスのリサイクル技術を活用し、女性職人の手で再度成形されました。ガラスの破片を重ねながら、熱を加えてねじることで、世界一のリーグを目指すＷＥリーグの「上昇する力」を表現しています。女性の未来と可能性の象徴として生まれ変わったトロフィーは「Women Empowerment Trophy」（ウーマンエンパワーメントトロフィー）と名付けました。



■WEリーグ戦 歴代優勝クラブ



2025/26 SOMPO WEリーグ　チャンピオン　ＩＮＡＣ神戸レオネッサ



2024-25 SOMPO WEリーグ　チャンピオン　日テレ・東京ヴェルディベレーザ



2023-24 WEリーグ　チャンピオン　三菱重工浦和レッズレディース



2022-23 Yogibo WEリーグ　チャンピオン　三菱重工浦和レッズレディース



2021-22 Yogibo WEリーグ　チャンピオン　INAC神戸レオネッサ

■WEリーグ クラシエカップについて

●大会名称	2026／27 WEリーグ クラシエカップ ［英語表記：WE LEAGUE Kracie Cup］
●主催	公益財団法人日本サッカー協会 公益社団法人日本女子プロサッカーリーグ
●タイトルパートナー	クラシエ株式会社
●試合会場	■リーグステージ 原則として各クラブのホームスタジアム ■ノックアウトステージ ● 準々決勝、準決勝 原則として各クラブのホームスタジアム ● 決勝 調整中
●開催期間および試合数	■リーグステージ 2026 年 9 月 12 日（土）～ 2027 年 3 月 7 日（日） 全 8 節／全 48 試合 ■ノックアウトステージ ● 準々決勝 2027 年 4 月 17 日（土）or 18 日（日） ● 準決勝 2027 年 4 月 24 日（土）or 25 日（日） ● 決勝 2027 年 5 月 5 日（水・祝）
●参加チーム数	12チーム
●試合方式および勝敗の決定	■リーグステージ 90分間(前後半各45分)の試合を行い勝敗が決定しない場合､PK戦(各チーム5人ずつ｡勝敗が決定しない場合は､6人目以降は1人ずつで勝敗が決定するまで)を行い､勝敗を決定する。 ＜勝点＞ 以下の通り付与される。 90 分間の試合で勝利したチーム：勝点３点 PK 戦で勝利したチーム：勝点２点 PK 戦で敗北したチーム：勝点１点 90 分間の試合で敗北したチーム：0 点 ＜順位の決定＞ リーグステージが終了した時点で、勝点の合計が多いチームを上位とし、順位を決定する。ただし、勝点が同じ場合は、以下の順によって順位を決定する。 ①全試合の得失点差 ②全試合の得点数 ③全試合の 90 分間の試合での勝利数 ④全試合の PK 戦での勝利数 ⑤順位決定に関わるチームが2チームのみで、双方のチームがフィールド上にいる場合は PK 戦 ⑥リーグステージの全試合の反則ポイントの少ない順 ⑦抽選 ■ノックアウトステージ 90 分間（前後半各 45 分）の試合を行い勝敗が決しない場合､30分間(前後半各15分)の延長戦を行う。延長戦で勝敗が決しない場合、PK 戦(各チーム5人ずつ。勝敗が決定しない場合は、6人目以降は1人ずつで勝敗が決定するまで)を行い､勝敗を決定する。
●表彰	優勝：賞金1,000万円 ＷＥリーグカップ ２位：賞金500万円

■WEリーグ クラシエカップ 歴代優勝クラブ



2025/26 WEリーグ クラシエカップ　チャンピオン　日テレ・東京ヴェルディベレーザ



2024-25 WEリーグ クラシエカップ　チャンピオン　サンフレッチェ広島レジーナ



2023-24 WEリーグカップ　チャンピオン　サンフレッチェ広島レジーナ



2022-23 WEリーグカップ　チャンピオン　三菱重工浦和レッズレディース

About WE Clubs

2026/27 WEリーグクラブ編成

WEクラブ一覧

1. マイナビ仙台
2. 三菱重工浦和レッズレディース
3. RB大宮アルディージャWOMEN
4. ちふれASエルフェン埼玉
5. ジェフ千葉レディース
6. 日テレ・東京ヴェルディベレーザ
7. ノジマステラ神奈川相模原
8. AC長野パルセイロ・レディース
9. アルビレックス新潟レディース
10. セレッソ大阪ヤンマーレディース
11. INAC神戸レオネッサ
12. サンフレッチェ広島レジーナ



マイナビ仙台

1	マイ仙台
2	ユアテックスタジアム仙台
3	宮城県仙台市
4	株式会社マイナビフットボールクラブ
5	代表取締役 社長執行役員 篠田 和昭
6	2021年

7 東日本大震災により休部した東京電力女子サッカー部マリーゼが移管し、2012年ベガルタ仙台レディースが発足しました。2017年に株式会社マイナビとタイトルパートナー契約を締結しマイナビベガルタ仙台レディースとなりました。
2020年10月にWEリーグへの参入が正式決定。2021-22シーズンからは「マイナビ仙台レディース」とクラブ名を改め、活動をスタートしました。
仙台、東北から日本全国、全世界に向けて、選手達の熱いプレーが多くの方に届くような盛り上がりを作っていきます。
また、クラブコンセプトを「日本でいちばん、“ひと”が育つクラブへ」を合言葉に、クラブにかかわる一人ひとりが、女子プロサッカー選手というキャリアパスを切り拓く先駆者であるという自覚を持ち、サッカーを通じて人間性を育みながら、成長を追求し続けていきます。

三菱重工浦和レッズレディース

1	浦和
2	浦和駒場スタジアム
3	埼玉県さいたま市
4	浦和レッドダイヤモンズ株式会社
5	代表取締役社長　清水 稔
6	2005年

7 1980年に誕生した「本太レディース」、1998年に派生した「浦和レイナス」（後にさいたまレイナス）を引き継ぐ形で2005年に「浦和レッドダイヤモンズレディース」が誕生しました。2009年、2014年、2020年となでしこリーグ優勝3回。2021年3月には「三菱重工浦和レッズレディース」へ呼称を変更しました。WEリーグに参入後は2022-23、2023-24シーズンで連覇しました。
「健康で活力のある『スポーツのまち　さいたま』」を推進するさいたま市にあって、プロ化した三菱重工浦和レッズレディースは「みる」スポーツの担い手としてこれまで以上の役割を果たし、地域を超え日本の女子サッカーの発展、さらにはWEリーグが目指す女性活躍社会の実現に寄与していきたいと考えています。

RB大宮アルディージャWOMEN

1	大宮
2	NACK5スタジアム大宮
3	埼玉県さいたま市
4	RB大宮株式会社
5	代表取締役社長兼CEO　マーク オーブリー
6	2021年

7 1969年に結成された「電電関東サッカー部」が母体となり、1998年に大宮アルディージャが誕生いたしました。「スポーツを通じて夢と感動をわかち合える、より良い地域社会の実現に貢献します。」という理念のもと、地域の発展に貢献できるよう活動を続けています。2021年、より一層「社会貢献・地域貢献できるクラブ」となるために、新たに女子チーム「大宮アルディージャ VENTUS」を設立しました。2024年10月よりレッドブルサッカーネットワークの一員となり、地域の皆さまとともに強く魅力のあるクラブへの成長・発展を目指してまいります。

ちふれASエルフェン埼玉

1	ＥＬ埼玉
2	熊谷スポーツ文化公園陸上競技場
3	埼玉県狭山市、飯能市、日高市、熊谷市、川越市、行田市、深谷市
4	株式会社エルフェンスポーツクラブ
5	代表取締役社長　鈴木 康之
6	2016年

7 1985年に狭山市で「アゼィリアFC」地域の少女チームとして発足し、長い間女子サッカーの普及と発展に取り組んできました。地域の皆様から多大なるご支援を受け、日本の女子サッカーの新たな歴史を刻む一員として、地域の皆さまと共にWEリーグの理念に沿って女子サッカーの発展と女性活躍社会に貢献することを目指しています。クラブの拠点エリアである狭山市、飯能市、日高市、熊谷市とはホームタウン協定、蕨市とはサポータータウン締結させていただいており、埼玉県からも女子サッカーに特化したクラブとして、力強いご協力を賜り活動を進めています。
ちふれASエルフェン埼玉は、このような女性アスリートの可能性を信じ、更なる成長を支えてくださる皆さまと共に、性別や年齢を超えたより多くの皆様が、女子サッカーというスポーツを通じて、感動や夢を感じていただけることを目的に、活動を行っています。

ジェフ千葉レディース

1	千葉Ｌ
2	ﾌｸﾀﾞ電子ｱﾘｰﾅ/ゼットエーオリプリスタジアム
3	千葉県市原市、千葉市
4	ジェフユナイテッド株式会社
5	取締役　高橋 薫
6	1992年

7 地域のママさんの要望で活動を始めた女子チームをJリーグ開幕に伴い、ジェフユナイテッドの下部組織にして1992年に発足しました。2000年に日本女子サッカーリーグ参戦。2009年に1部昇格。なでしこリーグカップ優勝1回。WEリーグには初年度より加盟しました。
中1からミセスまで約100名を擁するレディース部門のトップチーム、千葉県唯一のプロクラブとして、千葉県女子サッカーの普及発展に寄与するとともに、社会で活躍する女性の育成にも力を入れています。地域の皆様に元気、楽しみ、幸せを感じていただけるクラブを目指します。

日テレ・東京ヴェルディベレーザ

1	東京ＮＢ
2	味の素フィールド西が丘
3	東京都北区、板橋区、稲城市、日野市、多摩市、立川市
4	東京ヴェルディ株式会社
5	代表取締役副社長　森本 譲二
6	1981年

7 1981年、読売サッカークラブの女子チームとして創設しました。
2000年度より日テレ・ベレーザ、2020シーズンより、日テレ・東京ヴェルディベレーザに名称を変更しました。
『ベレーザ』とはポルトガル語で『美人』を意味します。これまで国内リーグ優勝17回、皇后杯（全日本女子選手権）優勝16回、国内リーグカップ優勝6回のタイトルを獲得しました。
トップチーム登録選手の大半を輩出している育成組織である『メニーナ』は、現在中学1年生から高校3年生までが所属しており、トップチームへの昇格とともに世界に通じる選手の育成を目指しています。

ノジマステラ神奈川相模原

1	Ｎ相模原
2	相模原ギオンスタジアム
3	神奈川県、相模原市、座間市、綾瀬市、海老名市、愛川町
4	株式会社ノジマステラスポーツクラブ
5	代表取締役社長　馬場 正臣
6	2012年

7 2012年2月、株式会社ノジマの女子サッカー部として発足しました。神奈川県初のなでしこリーグ1部昇格チームとなり、2017年には第39回皇后杯全日本女子サッカー選手権大会で準優勝。2018年にはなでしこリーグ1部で3位入賞しました。現在は、2021年に発足した日本初の女子プロサッカーリーグ「WEリーグ」に参戦しています。県内唯一の女子プロサッカークラブとして、「輝く」シンボル=STELLA（イタリア語で「星」）を目指します。

ＡＣ長野パルセイロ・レディース

1	ＡＣ長野
2	長野Uスタジアム
3	長野県長野市、須坂市、中野市、飯山市、千曲市、坂城町、小布施町、高山村、山ノ内町、木島平村、野沢温泉村、信濃町、小川村、飯綱町、栄村、佐久市
4	株式会社長野パルセイロ・アスレチッククラブ
5	代表取締役社長　澁谷 泰宏
6	2010年

7 チームの前身は大原学園JaSRA女子サッカークラブです。
2009年シーズン終了後に、AC長野パルセイロの女子チームとして移管され、AC長野パルセイロ・レディースが誕生しました。主な戦績は、2015年なでしこリーグ2部優勝。2016年なでしこリーグ1部3位。国内屈指のサッカー専用スタジアムである「長野Uスタジアム」をホームスタジアムとし、なでしこリーグで高い集客実績を誇ります。また、下部組織から代表候補選手を輩出する成果が出始めており、北信越地域の少女に夢と希望を届け、地域・日本の女子サッカーの普及発展に貢献することを目指しています。スタジアムにご来場いただいた皆様、地域の皆様に対し、懸命に戦っている姿をお見せし、勇気と元気の源、夢や希望をお届けしたいと思います。

アルビレックス新潟レディース

1	新潟Ｌ
2	デンカビッグスワンスタジアム、新潟市陸上競技場
3	新潟県、新潟市、新発田市、聖籠町
4	株式会社新潟レディース フットボールクラブ
5	代表取締役社長　山本 英明
6	2002年

7 Jリーグ・アルビレックス新潟の女子チームとして2002年に創設しました。2006年になでしこリーグ1部へ昇格して以降、トップカテゴリーで戦い続けています。皇后杯準優勝5回。2019年には、株式会社アルビレックス新潟レディースとして分社独立し、2021年からWEリーグに加盟しました。
女子サッカー界の頂点を目指すだけでなく、社会人としても新潟へ貢献できる人材を育成・輩出することとともに、地域活動や企業訪問を通してアルビファミリーの輪を広げていくことを目指します。

セレッソ大阪ヤンマーレディース

1	Ｃ大阪
2	YANMAR HANASAKA STADIUM
3	大阪府大阪市、堺市
4	株式会社セレッソ大阪
5	代表取締役社長　日置 貴之
6	2010年

7 2010年にセレッソ大阪レディースU-15が発足。1期生16名で活動開始。2013年にチャレンジリーグへの参戦に合わせてセレッソ大阪堺レディースに改称。2013年からなでしこリーグに加盟し活動。2023-24シーズンよりセレッソ大阪ヤンマーレディースに改称しWEリーグに加盟。セレッソ大阪の下部組織から育てた選手を中心にチームを構成しています。

ＩＮＡＣ神戸レオネッサ

1	Ｉ神戸
2	ノエビアスタジアム神戸
3	兵庫県神戸市
4	アイナックフットボールクラブ株式会社
5	代表取締役社長　阿部 浩之
6	2001年

7 2001年4月に神戸で誕生し、2005年にLリーグ参入1年で1部へ昇格しました。2010年に全日本女子サッカー選手権大会（現：皇后杯）にて初のタイトルを獲得し、2011年に念願のリーグ初優勝を達成しました。“神戸から世界へ”をコンセプトに世界で闘える選手の輩出、また女子サッカーのさらなる飛躍を目指し日々取り組んでいます。

サンフレッチェ広島レジーナ

1	広島
2	エディオンピースウイング広島
3	広島県広島市
4	株式会社サンフレッチェ広島
5	常務取締役　定本 晴路
6	2021年

7 サンフレッチェ広島では、一般社団法人日本女子プロサッカーリーグが設立する「WEリーグ（Women Empowerment League）」の理念に賛同し、ここ広島から「女性の社会進出・男女の平等」を発信していくために、参入申請を行い、2020年10月、WEリーグから承認いただきました。サンフレッチェ広島レジーナは、クラブ理念「サッカー事業を通じて夢と感動を共有し地域に貢献する」に基づき、サッカーを通じて女性活躍社会のシンボルとして活動し、競技に臨んでいく姿を見せることで地域の皆さまに勇気を与えられる存在になることを目指します。

【凡例】1略称2ホームスタジアム3ホームタウン4法人名5実行委員6チーム創設年7クラブの変遷

2026年10月現在

About WE ACTION

WE ACTION

【WE ACTION ロゴについて】
WE リーグのWが渦の中心にあって、
周囲に波紋が広がる様子を表しています。

WE ACTIONとは、WEリーグに所属する選手、クラブ、そして、サポートするパートナー企業をはじめとする様々な人が輪となり、リーグ理念である「女子サッカー・スポーツを通じて、**夢や生き方の多様性**にあふれ、**一人ひとりが輝く社会の実現・発展**に貢献する。」の実現のために**私たちみんな（WE）で起こす行動（ACTION）**です。
WE ACTIONは、リーグ理念への共感を広げ、様々なステークホルダーとの共創の輪を広げる活動です。

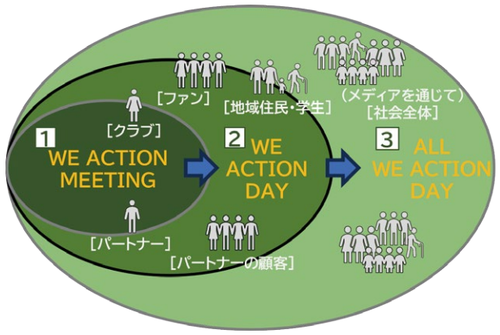
WE ACTIONを構成する3つの取組み

方針策定
❶WE ACTION MEETING
活動アイデアの着想を得る場
WEリーグが、**既存ステークホルダーであるクラブやスポンサー**と共に、理念を実現するための**具体的な行動の方針を議論**する活動

実行
❷WE ACTION DAY
実際にアクションを起こす場
“クラブ”及び“パートナー企業”が各々のフィールドで関係者とともに**実際のアクティベーション**を行う活動

発信
❸ALL WE ACTION DAY
マスメディアを通じて発信する場
WEリーグが、メディアを通して**広く社会に、ステークホルダー**が実施した**WE ACTION DAYを取りまとめて発信**する活動

■展開のイメージ



■WE ACTION MEETING

2026/27シーズンのWE ACTION MEETINGでは、クラブ、パートナー企業、リーグ関係者が集い、WE ACTION DAYに向けた新たなアイデア創出に取り組みました。
第1部では、日本ブラインドサッカー協会の協力のもとブラインドサッカー研修を実施。アイマスクを着用した体験やコミュニケーションワークを通じて、多様な視点への理解を深めるとともに、「伝えること」と「受け取ること」の難しさや大切さを体感しました。第2部では、「多様性・ジェンダー」「教育・健康」「地域連携」の3テーマに分かれ、各クラブが目指したい未来や地域課題を起点にアイディエーションを実施しました。クラブやパートナー企業がそれぞれの知見や経験を持ち寄りながら意見を交わし、WE ACTION DAYにつながる具体的な施策アイデアを創出。参加者同士の対話を通じて新たな気づきや学びを共有する機会にもなりました。



■ALL WE ACTION DAY

2025/26シーズンのALL WE ACTION DAYでは、シーズンを通じてクラブ・パートナー企業・リーグが取り組んだ21件のWE ACTION DAY施策を紹介するとともに、その成果や社会的意義を発信しました。
また、年間を通じて高く評価された活動を実施したクラブによるトークセッションを行い、活動に携わった関係者が、企画の背景や活動を通じて得られた気づき、地域やパートナーとの連携によって生まれた成果を共有しました。さらに、次シーズンに向けた活動予定やWE ACTION MEETINGについても紹介しました。ALL WE ACTION DAYは、WE ACTIONの取組みを社会へ発信するとともに、次のアクションへつなげる場となりました。



■WE ACTION DAY

WE ACTION DAYでは、クラブや地域の特性を生かし、「多様性・ジェンダー」「教育・健康」「地域連携」の3つのテーマを軸に、クラブ・選手・パートナー企業・地域の皆さまとともに多様な活動を実施しています。各クラブが地域課題や特色に応じた企画を展開し、新たな学びや気づき、つながりを生み出しています。
2025/26シーズンは、21件のWE ACTION DAY施策を実施しました。シーズンを通じて実施された取組みの中から、特に印象的だった活動や高い社会的インパクトを生み出した活動を表彰しています。2025/26シーズンは、マイナビ仙台の「ウガンダへの手作り布ナプキン・ユニフォームの寄贈」がMOST IMPRESSIVE WE ACTION DAYを受賞し、ＡＣ長野パルセイロ・レディースの「DREAM SCHOOL DAY 2025」がSocial Impact賞を受賞しました。各クラブによる創意工夫あふれる活動を通じて、WEリーグ理念の実現に向けたアクションの輪が広がりました。

■2025/26シーズン WE ACTION DAY 一覧（クラブ／リーグ）


ウガンダへの手作り布ナプキン・ユニフォームの寄贈（マイナビ仙台）
［多様性・ジェンダー］


学生デザインユニフォーム着用～復興応援マッチ～（マイナビ仙台）
［地域連携］


WE ACTION DAY 認知症を取り巻く社会や未来について考える取り組み（三菱重工浦和レッズレディース）［教育・健康］


ホームタウンの文化を学ぼう! 盆栽編（RB大宮アルディージャWOMEN）
［地域連携］


美容と健康が生み出す、生きがいのある暮らし（ちふれASエルフェン埼玉）
［教育・健康］


防災ファミリーDAY～さあ、防災のパスをつなごう!～（ちふれASエルフェン埼玉）
［地域連携］


蘇我小プレゼンツ　ホームゲーム丸ごとプロデュース（ジェフ千葉レディース）
［教育・健康］


クリーンプロジェクト in十条/in池袋（日テレ・東京ヴェルディベレーザ）
［地域連携］


さつまいも共創プロジェクト（ノジマステラ神奈川相模原）
［教育・健康］


DREAM SCHOOL DAY 2025（AC長野パルセイロ・レディース）
［地域連携］


みんなで考え 生み出す新潟の未来～環境美化編～（アルビレックス新潟レディース）
［地域連携］


セレッソ大阪ヤンマーレディース インクルーシブフェスタ（セレッソ大阪ヤンマーレディース）
［多様性・ジェンダー］


阪神淡路大震災から31年、いま私たちができること（INAC神戸レオネッサ）
［地域連携］


近賀ゆかりアンバサダーと学ぶ平和学習（サンフレッチェ広島レジーナ）
［教育・健康］



WEリーグ WE ACTION in渋谷スポフェス
［教育・健康］



WEリーグ ひなまつり 鬼ごっこスポーツ体験
［多様性・ジェンダー］


WEリーグ スポーツ鬼ごっこ
［地域連携］

About Partnership

●クレディセゾン

2026/27シーズンから株式会社クレディセゾンとゴールドパートナー契約を締結しました。2001年より25年以上にわたりサッカー日本代表を支援し、これまで培ってきた日本サッカーとのつながりを女子サッカーへと広げ、長期的な視点で女子サッカーの発展を支えていただきます。

女子サッカーへの関心が高まり、世界を舞台に活躍する選手が増える中、その成長を次の世代へとつないでいくことが重要だと考え、競技環境のさらなる充実や認知拡大に加え、若手選手が世界へ挑戦する機会を創出し、世界へ羽ばたく選手の育成を後押しする支援プログラムなどで、女子サッカーの未来につながる取り組みをともに進めていきます。

また、地域や学校との連携、なでしこジャパンOG・ＷＥリーグ選手OGとの取り組みなどを通じて、子どもたちをはじめ、より多くの方々が女子サッカーに触れ、その魅力を知り、選手の挑戦を応援するきっかけを創出してまいります。

本パートナーシップを通じて、選手がより高い舞台へ挑戦できる環境を支えるとともに、その姿に憧れた次の世代が新たな挑戦へと踏み出すきっかけを創出することで、女子サッカーの持続的な発展とスポーツを通じた新たな社会的価値の創出を目指してまいります。





●ビーズインターナショナル（X-girl）

ＷＥリーグ オフィシャルサプライヤーであるビーズインターナショナル（X-girl）より7クラブのユニフォームをサプライしていただいています。

「WEAR THE HOPE」のデザインコンセプトのもと2026/27シーズンのキービジュアルでは、X-girlがＷＥリーグのユニフォームデザインを手がけて以来、初の試みとして、モデルの着用写真にイラストレーター「ELLYLAND（エリーランド）」のイラストを合成。

デザインコンセプトや世界観をイラストで補足表現することで、選手・クラブの意志や想いをより直感的に伝える、X-girlらしいグラフィカルなビジュアルに仕上げました。

ＷＥリーグ公式アプリでは、2026/27シーズンキービジュアルのデザインをもとにX-girl×ＷＥリーグ限定フォトフレームの配信を行っています。

ぜひSNSで「#ユニコーデしよう」のハッシュタグを付けて、一緒にお気に入りのコーデで選手たちを応援しましょう。





●みずほフィナンシャルグループ

株式会社みずほフィナンシャルグループと2026/27シーズンより2年間のゴールドパートナー契約を締結しました。

〈みずほ〉は、長年にわたりJFA（日本サッカー協会）を支援し、日本サッカーの成長とともに歩んでいただいています。その中で、ＷＥリーグを日本サッカー界の新たな成長の担い手と考えています。

〈みずほ〉のパーパス「ともに挑む。ともに実る。」の実践を通じて、女子サッカーの価値向上と競技の発展を支え、次世代育成、地域とのつながり、女性の活躍推進といった社会的価値の創出にともに取り組んでいきます。

「MIZUHO presents マッチデー」の実施や「ＷＥリーグ月間ベストオフェンス賞・月間ベストディフェンス賞 supported by MIZUHO」での発信などにより、各ホームタウンにおける〈みずほ〉の拠点とＷＥクラブの連携を強化し、好循環を生み出してまいります。



●クラシエ株式会社×ＷＥリーグ

クラシエ株式会社とＷＥリーグは、WEリーグカップのタイトルパートナーとして女子サッカーのさらなる発展と大会の盛り上げに向け、年間を通じてさまざまなアクティベーションに取り組んでいます。

クラシエ株式会社の社名を冠した大会「クラシエカップ」では、各試合会場において「クラシエプレゼンツ ねるねPKチャレンジ」を実施。クラシエ商品の紹介やプレゼントとあわせて、幅広い年代の来場者が楽しめる企画を展開し、試合観戦だけではないスタジアム体験の創出につなげました。

さらに、準決勝からは「コロコロ PKボーリング」も登場。来場者参加型のアクティベーションを拡充することで、大会をより身近に感じていただける機会を醸成しました。

決勝では、来場者へのクラシエ商品セット配布等も実施。クラシエブランドとWEリーグをつなぐさまざまな接点を創り、会場全体で大会を盛り上げました。

このように、クラシエ株式会社とWEリーグは、「大会を盛り上げる」だけではなく、WEリーグの理念にある「一人ひとりが輝く社会の実現」を目指し、年間を通じて多様なアクティベーションを展開しています。





PARTNERS

リーグパートナー

ゴールドパートナー

SAISON　MIZUHO

シルバーパートナー

オフィシャルサプライヤー

X-girl　西原商会

オフィシャルブロードキャスティングパートナー

DAZN

オフィシャルメディアパートナーズ

讀賣新聞

オフィシャルエクイップメントパートナー

molten For the real game

オフィシャルチケッティングパートナー

ぴあ

リーグカップパートナー

リーグカップタイトルパートナー

Kracie

リーグカップパートナー

X-girl

WE ACTION パートナー

信用金庫　PERSOL　BUSINESS INSIDER　MASHING UP

2026年10月現在